

滋賀地域交通活性化協議会 令和6年度事業報告

令和6年度事業1～5の結果は以下のとおりでした。

1 まちづくり関連計画、現状分析結果等の整理

まちづくり関連計画、地域交通の現状、人流データ、主要な施設までのアクセシビリティ評価などを行い、県内6地域毎にとりまとめ、ワークショップ等での議論検討のための資料とし活用した。

2 ワークショップの開催と施策メニューのとりまとめ

生活圏や交通軸を元に県内を6つの地域に分け、各2回のワークショップを開催した。ワークショップには一般から延べ174名に参加いただき、幅広い属性の方から多様なご意見をいただいた。

ワークショップ等を踏まえた目指す暮らし方を実現するための施策メニュー案を通りとりまとめた。

3 施策メニューの概算費用等の算出

既存データや予測値等から、2040年代において、施策実施に必要な概算費用を算出した。概算費用は、第2回ワークショップおよび県民フォーラムで提示し、施策と費用を一体で議論した。

また、交通の持つ多面的な効果を可視化するため、クロスセクター効果も算出した。

4 フォーラムの開催

6地域のワークショップ結果を共有し、施策メニューや、交通税などの財源のあり方について、県全体で広く議論するため、全県を対象としたフォーラムを令和7年2月15日にイオンシネマ草津にて開催した。Webシステムを活用し、参加者と対話型の意見交換会を行った。当日の意見は、グラフィックレコーディングにより、視覚的にわかりやすく取りまとめた。

5 滋賀地域交通計画骨子案作成

1～4の取組結果等を踏まえ、滋賀地域交通計画骨子案を作成した。

- 事業結果の詳細は、下記、別添資料を参照してください。

【参-1】 第1回ワークショップ結果報告

【参-2】 第2回ワークショップ結果報告

【参-3】 県民フォーラム 2025 結果報告